

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公開番号】特開2005-318661(P2005-318661A)

【公開日】平成17年11月10日(2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2005-044

【出願番号】特願2005-221901(P2005-221901)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/405 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

G 0 6 T 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/40 B

G 0 6 T 3/00 3 0 0

G 0 6 T 5/00 2 0 0 A

H 0 4 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月8日(2007.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された多階調画像の原画像を任意の走査ラインを境に2つの領域に分割し、各分割領域に対してそれぞれ独立して誤差拡散処理を実行してから各分割領域を合成するようにした画像処理方法であって、

前記原画像を2つの領域に分割する前に、前記走査ライン上の各画素の誤差を前記走査ラインを挟む2つの領域に拡散するように誤差拡散処理を行い、

前記分割後の各領域の誤差拡散処理は、前記分割された各分割領域に対して、前記走査ラインと隣接する位置に存在する画素からなる画素列のうち、当該画素列の端部に位置する未処理の画素を始点として前記走査ラインと平行に順次実行することを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】

入力された多階調画像の原画像を誤差拡散にて二値化処理する画像処理装置であって、前記原画像を任意の走査ラインを境に2つの領域に分割する画像分割手段と、前記画像分割手段で分割された各分割領域に対してそれぞれ互いに独立して誤差拡散処理を実行する誤差拡散手段と、前記誤差拡散手段で誤差拡散処理された後の各分割領域を合成して二値化処理画像を形成する画像合成手段とを備え、

前記画像分割手段は、前記原画像を分割する前に、前記走査ライン上の各画素の誤差を前記走査ラインを挟む2つの領域に拡散するように誤差拡散処理を行い、

前記誤差拡散手段は、前記分割された各分割領域に対して、前記走査ラインと隣接する位置に存在する画素からなる画素列のうち、当該画素列の端部に位置する未処理の画素を始点として前記走査ラインと平行に順次実行することを特徴とする画像処理装置。

【請求項3】

入力された多階調画像の原画像を誤差拡散にて二値化処理する画像処理プログラムであ

って、

前記原画像を任意の走査ラインを境に2つの領域に分割する画像分割手段と、前記画像分割手段で分割された各分割領域に対してそれぞれ互いに独立して誤差拡散処理を実行する誤差拡散手段と、前記誤差拡散手段で誤差拡散処理された後の各分割領域を合成して二値化処理画像を形成する画像合成手段とをコンピュータに機能させると共に、

前記画像分割手段は、前記原画像を分割する前に、前記走査ライン上の各画素の誤差を前記走査ラインを挟む2つの領域に拡散するように誤差拡散処理を行い、

前記誤差拡散手段は、前記分割された各分割領域に対して、前記走査ラインと隣接する位置に存在する画素からなる画素列のうち、当該画素列の端部に位置する未処理の画素を始点として前記走査ラインと平行に順次実行することを特徴とする画像処理プログラム。